

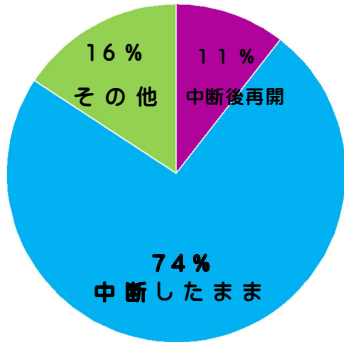
## 2021年度傾聴活動に関するアンケート結果 (2021年12月時点アンケート実施)

このアンケートは2021年12月の時点でお聞きしたものです。感染状況が全国的に落ち着き、長野県の場合も沈静化していた時期です。  
従って、その後のオミクロン株による爆発的な感染拡大と「まん延防止等重点措置」発出後の状態についてはアンケート結果には反映されていません。

アンケート回収率 96パーセント

### ■ 傾聴活動について

#### 1. 施設傾聴の状況



▽ その他

施設により受け入れの状況が異なり、受け入れ可の施設もある

▽ 中断後再開

1ヶ所の施設でリモート傾聴

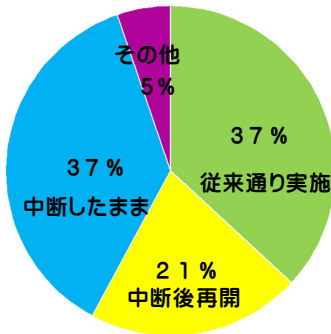
#### 傾聴を行った際の感染対策・工夫

傾聴者の検温    マスク着用    手洗いとアルコール消毒  
換気    利用者との距離(ディスタンス)  
県外移動・県外者との接触の有無の確認  
時間短縮  
自己チェックシートで確認

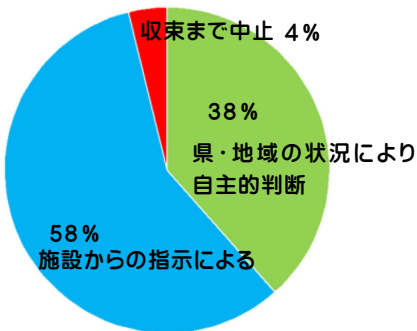
#### 個人宅傾聴の場合、付け加えた工夫

利用者さんの体調や状況の確認 : ケアマネさんなどと連絡 本人からの連絡  
利用者宅の物品に触らない

#### 2. 個人宅傾聴の状況



#### 3. 傾聴活動の実施・中止の判断はどのようにしたか



社協との連携も含めて判断  
近隣の感染状態を見ながら  
個人傾聴の場合は、利用者の要請を基に対応している

#### 昨年度(2020年12月時点)との比較

##### 1. 施設傾聴の状況

数値的にはほぼ同様の状況だが、2021年度は施設により「受け入れ可」の場合がある。

##### 2. 個人宅傾聴の状況

「中断したまま」の状態はほぼ同様。「従来通り実施」が17%増加した。

##### 3. 傾聴実施・中止の判断

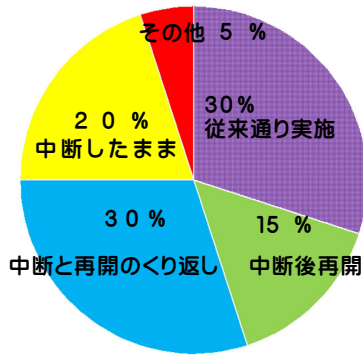
数値的には昨年度、今年度 同様。

##### 4. 定例会・連絡会の状況

「従来通り実施」が5%増加 「中断したまま」は20%で代わらず 「中断と再開くり返し」はほぼ同様

## ■ グループとしての活動について

### 1. 定例会・連絡会

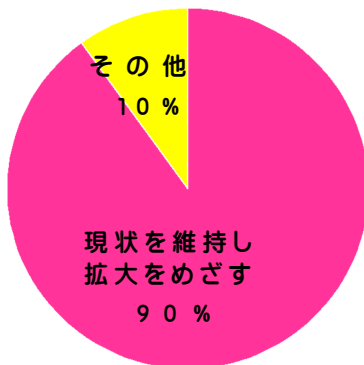


### 2. モチベーション維持のため2021年度新たに取り組んだこと

- ・勉強会・学習会(新会員と共に)
- ・グループの会報・ニュースの発行
- ・メンバーが順番にテーマの提供をしてフリートーク(傾聴に限らない)
- ・会員相互の理解と親睦を深めるため少人数での話し合いを増やした
- ・他から、傾聴の研修会の依頼があり、講師を務めた
- ・映画「命の停車場」を鑑賞して意見交換し有意義だった
- ・月刊誌読み会せ
- ・会員の特技披露(読み聞かせ・音手紙・パ・ス・テイ・プレゼント)
- ・近隣の高齢者への積極的な声掛けと傾聴
- ・社協からの依頼で「ほっとこーる」を実施 個人宅への電話で訪問し、10～15分お話を聴かせていただく。
- ・定例会ができない時は役員会を実施
- ・傾聴ボランティア基礎講座を開催できた

## ■ 今後の傾聴ボランティア活動について

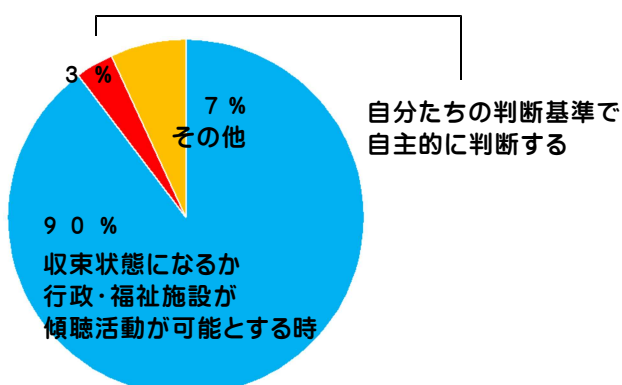
### 1. 今後の活動について



- ・新たな活動場所を検討しながら、広げたい
- ・会員は減少し、沈滞している
- ・高齢のため積極的に活動できない 施設内個人傾聴を検討
- ・社協主催の講習会などで会員を増やす機会が欲しい
- ・会員は減少傾向 増やすことは難しいので現状活動を維持したい
- ・施設傾聴は維持し個人傾聴は拡大したい
- ・社協・包括からの要望とメンバーの活動可能性との兼ね合いで決まる
- ・施設からは「長野県内において感染者が一人も出ていない状態でない」と受け入れることはできないと言われていて 一方、受け入れて頂いている施設もある
- ・個人宅など孤立増加している中、社協と調整しながら巾を広げていく策を検討

### 2. コロナ以前に戻り、傾聴活動ができるのはどのような状況の時と考えるか

#### 施設傾聴



#### 個人宅傾聴

